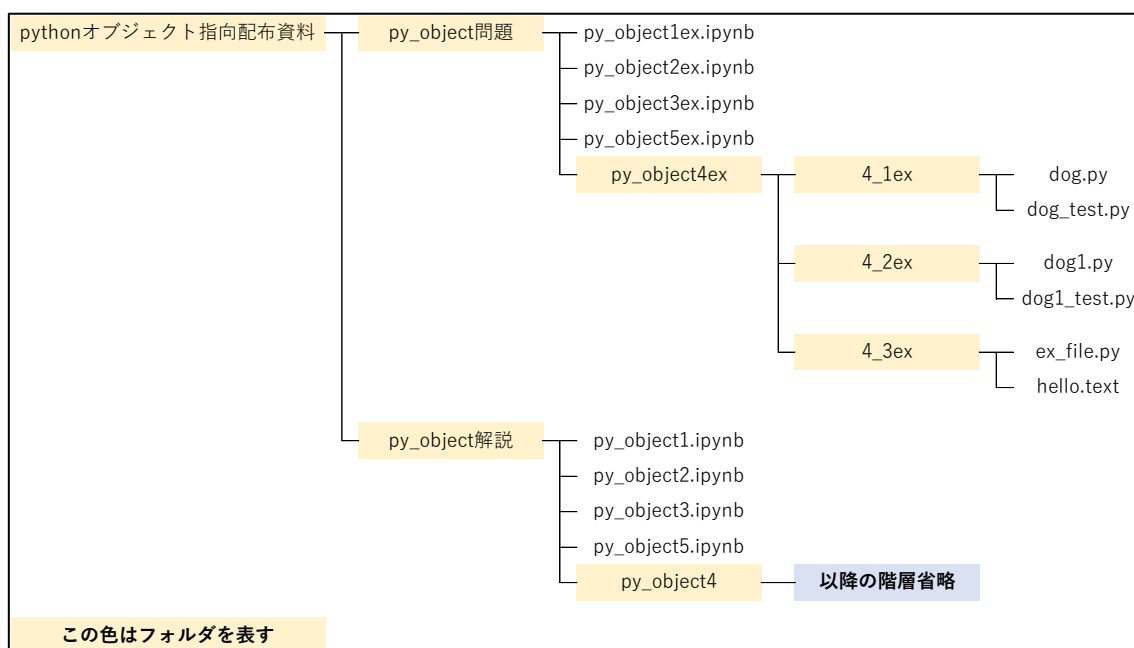


配布資料の使い方

Python 本格入門シリーズ② オブジェクト指向プログラミング をご受講いただき誠にありがとうございます。
配布資料の使い方についてご案内させていただきます。必ず一読していただきますようお願いいたします。

“python オブジェクト指向配布資料.zip”をダウンロードしていただき、解凍してください。

ダウンロードしていただきました、“python オブジェクト指向配布資料.zip”の階層は以下のようになっております。
欠損がないかご確認ください。



本コースでは、第 4 章を除いて Google 社が提供する Google Colaboratory を使用します。Colaboratory の使い方は次ページからご案内します。第 4 章で使用する、PyCharm の使い方は第 4 章内でご案内いたします。

Google Colaboratory の使い方

I . Google Colaboratory の開き方

- ① 以下の URL にアクセスします。あるいは、検索エンジンで「Google Colaboratory」と検索します。

URL: <https://colab.research.google.com/notebooks/welcome.ipynb?hl=ja>



- ② 「ログイン」をクリックします。(既に Google アカウントでログイン済みの方は、II . ノートブックファイルのアップロードにお進みください。)

- ③ Google アカウントにログインします。Google にご登録のメールアドレスもしくは電話番号を入力してください。“次へ”をクリックし、パスワードを入力します。



- ④ ログインが完了すると、①のページに戻ります。

II. ノートブックファイルのアップロード

- ① コースで事前に配布されるノートブックファイル(拡張子が“.ipynb”のファイル)をアップロードします。
「ファイル」→「ノートブックをアップロード」をクリックします。



- ② アップロード画面が表示されます。「ファイルを選択」から配布ファイルを選択するか、点線内にファイルをドラッグ&ドロップします。



III. ノートブックの操作方法

★ ノートブックの新規作成

① 「ファイル」→「ノートブックを新規作成」をクリックします。

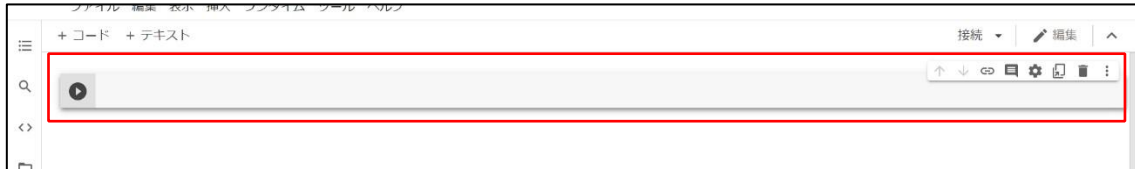


② 新規のノートブックが開きます。



★ セルへの入力と実行

- ① ノートブックではセル(下図赤枠部分)にコードを入力し、実行します。



- ② ここでは例として「print("Hello World")」を入力し、実行します。実行する時はセル左端部の再生マークを押します。

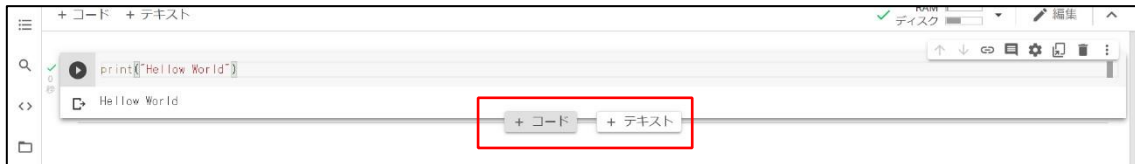


- ③ 処理が完了するとセル下部分に実行結果が表示されます



★ セルとテキストの挿入と移動

- ① セルの上下中央部にカーソルを移動させると、「+コード」・「+テキスト」アイコンが表示されます。



- ② 「+コード」をクリックすると、新しいセルが追加されます。



- ③ 「+テキスト」をクリックすると、テキストを挿入することができます。

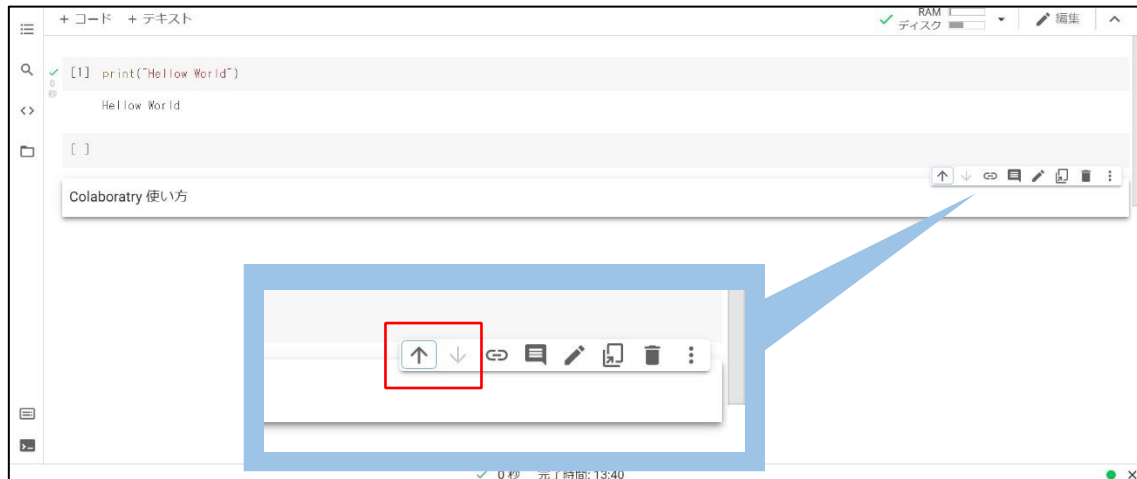
- ④ テキストは左側の編集ボックスに入力します。



- ⑤ 右側ダブルクリックで編集モードが終了します。



- ⑥ セルもしくはテキストを一回クリックすると、右上にアイコン群が表示されます。



- ⑦ このうち矢印アイコンをクリックすることで位置を任意の場所に移動することができます。



★ ノートブックの保存と保存先

- ① ノートブックは定期的に自動保存されますが、手動で保存する方が安全です。保存の方法は「ファイル」→「保存」をクリックします。



- ② ファイルはログインされた Google アカウントに紐づいている Google ドライブ内に作成された「Colab Notebooks」フォルダ内に保存されます。アップロードしたファイルもこちらに保存されます。

IV. ノートブックファイルを開く

- ① 「ファイル」→「ノートブックを開く」をクリックします。



- ② 最近開いたファイルは「最近」の欄に表示されます。

この一覧にないものは「Google ドライブ」の欄にあります。

アップロードしたファイルも「Google ドライブ」から開くことが可能です。

